

伊賀

市議会だより

2013.5.15

No. 33



忍者三きょうだい参上!!!

(伊賀上野 NINJA フェスタ 2013 伊賀上野城にて)

主な掲載内容

| | |
|-------------------------|---|
| 議会の新体制決まる 2～3 | 議会で決まった主なこと 意見書・審議結果・賛否一覧 8～11 |
| 平成25年度予算 4～5 | 24人が代表・一般質問 12～19 |
| 常任委員会 6～7 | 会派一覧・次回の議会日程 20 |

決まる!!!

第3回臨時会を4月15日に開催。議長と副議長を選挙で選出し、議会選出の監査委員も決まりました。

また、各常任委員会の委員を選び、委員会の構成を決めました。

(◎は委員長 ○は副委員長)



中井洸一監査委員



中谷一彦副議長



空森栄幸議長

議長就任あいさつ

このたび、議長に就任させていただきました。空森栄幸でございます。

今年、三重県市議会議長会会長という重責を伊賀市議会議長があずかる年にあたり、責任の重さを痛切に感じております。議会におきましては、この3月の選挙により、24名の新たなメンバーでスタートしたところでございます。今回の議長選挙は、新たな役員改選制度の一環として、候補者の所信を事前に表明することになり、私は市民目線による政策提言に重点を置き、3つの取り組みを考えました。

1つ目は医療の充実（医師の確保）、2つ目は観光の推進（まちづくり）、3つ目は議会改革（報告会の見直し）であります。議会内に、この3つのプロジェクトチームをそれぞれ設置し、進めて参りたいと考えております。市民の皆様が安心して暮らせるよう、また、伊賀市がさらに発展して行くよう、我々24人の議員が力を合わせていきたいと思っております。これから皆様方のさらなるご支援、ご協力をお願い致します。ご挨拶とさせていただきます。

各委員会 委員紹介

◆ 議会運営委員会

議会を円滑・能率的に行うため、日程や審議内容を審査

◎安本美栄子 ○北出忠良

中岡久徳 森 正敏

木津直樹 百上真奈

近森正利 生中正嗣

その他組合等 議会議員紹介

◆ 伊賀市・名張市 広域行政事務組合

伊賀地区の振興整備に関する事項を所管

中岡久徳 安本美栄子

空王森栄幸 北出忠良

田山宏弥 中谷一彦

稲森稔尚 市川岳人

◆ 予算常任委員会

予算及びこれに関する事項を所管

◎中谷一彦

○稲森稔尚

委員は議長を除く議員

◆ 伊賀南部 環境衛生組合

青山地域と名張市のごみ処理、し尿処理施設の管理運営を所管

森岡昭一 森 正敏

森川 徹 嶋岡壯吉

◆ 決算常任委員会

決算及びこれに関する事項を所管

◎中谷一彦

○稲森稔尚

委員は議長と監査委員を除く議員

◆ 三重県後期高齢者 医療広域連合

三重県内の後期高齢者医療制度の運営に関する事項を所管

空王森栄幸

平成25年度新体制



安本美栄子
(緑ヶ丘南町)



森岡昭二
(柘植町)



○市川岳人
(島ヶ原)



◎稲森稔尚
(柏野)



田中 寛
(緑ヶ丘南町)



生中正嗣
(岩倉)



中谷一彦
(桐ヶ丘)



岩田佐俊
(印代)

総務部、企画財政部、人権生活環境部、総合危機管理室、市政再生室などの事項、その他の委員会に属さない事項を所管

総務常任委員会



百上真奈
(長田)



前田孝也
(猪田)



○森川 徹
(阿山ハイツ)



◎田山宏弥
(上野忍町)



福岡正康
(中馬野)



福田香織
(小田町)



近森正利
(東高倉)



中井洸一
(丸柱)

健康福祉部、上野総合市民病院、教育委員会の事項を所管

教育民生常任委員会



北出忠良
(川東)



空森栄幸
(菖蒲池)



○嶋岡壮吉
(阿保)



◎中岡久徳
(市部)



赤堀久実
(希望ヶ丘)



上田宗久
(大野木)



木津直樹
(玉瀧)



森 正敏
(阿保)

産業振興部、建設部、消防本部、水道部などの事項を所管

産業建設常任委員会

420億1,208万円

などを議論!

校区再編

庁舎建設

行政組織の見直し

平成25年度一般会計

- 当初予算総額は? **420億1,208万円**
- 今年度の市債は? **52億9,640万円**
- 今年度の市債の償還額は? **59億6,036万円**
- 平成25年度末の市債残高の見込み額は? **588億4,613万円**
(市民一人あたり換算で約61万円)
- 平成25年度末基金残高の見込み額は? **112億4,774万円**
(市民一人あたり換算で約12万円)

※人口 平成25年3月31日現在 9万7,190人

2月定例会は、2月13日から3月7日まで、23日間の会期で開会しました。

平成25年度一般会計予算議案ほか予算関係32議案は、予算常任委員会において25日から27日までの3日間で審査を行い、3月7日に可決しました。

平成25年度の一般会計は、「医療の再生」、「ムダのない財政」、「観光・農林業の再生」に重点を置いて編成され、庁舎建設事業の中止やハイトピア伊賀地下駐車場整備事業終了により減額となったが、河合小学校建設事業やしろなみ保育所整備事業などの新規事業を実施することになった結果、前年度比0.1%減の420億1,208万円となりました。

用語解説

● 自主財源

市税、使用料、手数料、財産収入など市が自主的に調達しうる財源です。

● 依存財源

国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする収入です。

● 義務的経費

その支出が義務付けられていて、任意に削減することが難しい経費です。

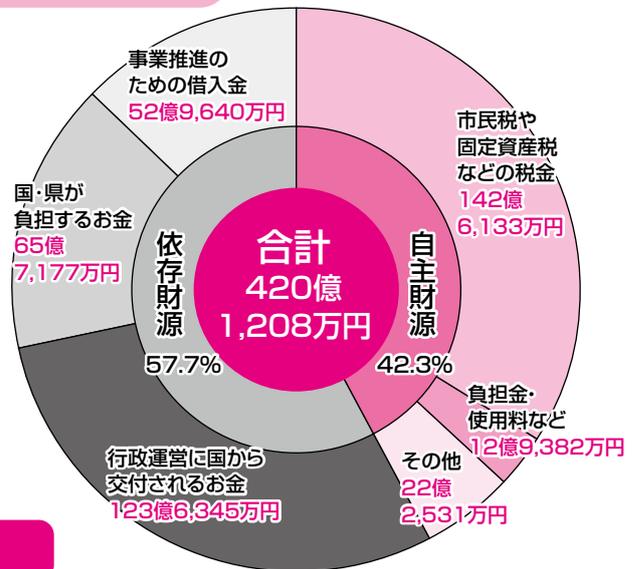
● 消費的経費

支出効果が単年度または短期間に終わるもの、後年度に形を残さない経費です。

● 投資的経費

道路、橋梁、学校、公園等、各種社会資本整備に要するものであり、支出の効果が長期にわたる経費です。

一般会計歳入予算の内訳



主な歳入(財源)

● 市税

市民税や固定資産税等の税金
142億6,133万円

● 地方交付税

行政運営に国から交付されるお金
102億9,500万円

● 国・県支出金

国県が負担するお金
65億7,177万円

● 市債(市の借金)

主に建設事業に充てるために市が借り入れるお金
52億9,640万円

● 負担金・使用料など

市が行う事業に対する地元負担金や施設の使用料など
12億9,382万円

● 繰入金

基金(市の貯金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金
7億7,294万円

平成25年度一般会計予算

ムダのない財政？ 市政再生？

主な歳出(使いみち)

万円未満四捨五入

●民生費

老人福祉、障害者福祉、保育所運営経費、医療費助成、生活保護費など

- しろなみ保育所整備事業 3億452万円
- 壬生野保育園耐震補強工事費 6,214万円
- 地域福祉体制づくり事業 966万円

131億6,393万円

●公債費

(借入金の返済)

市が建設事業等のために借り入れた市債の償還に必要な経費など

- 市債元金償還金 59億6,036万円
- 市債利子 7億9,324万円

67億5,760万円

●総務費

企画調整、財政財務および全般的な管理事務等に必要経費など

- 文化会館改修工事 1億4,387万円
- 住民自治協議会地域ステップアップ事業交付金 1,950万円
- 島ヶ原会館耐震補強計画・設計業務委託料 1,036万円

58億4,119万円

●衛生費

環境対策や清掃事業、健康推進の経費など

- 病院事業会計繰出金 6億9,418万円
- し尿処理浄化槽整備工事費 1億3,000万円
- 子宮頸がん等ワクチン接種 1億54万円

44億7,338万円

●土木費

道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設費、都市計画事業費など

- しらさぎ運動公園整備工事費 3億9,430万円
- 住宅・建築物耐震改修等事業補助金 3,380万円
- 伊賀神戸駅周辺整備用地取得及び工事費 1,320万円
- 銀座通りの街路樹植替工事 850万円

36億8,749万円

●教育費

小中学校、幼稚園の管理運営、文化財の保全、スポーツ振興経費など

- 河合小学校建設事業 4億4,515万円
- 上野西小学校校舎増築事業 1億5,464万円
- 通学路整備事業 1,604万円
- 児童生徒登下校安全サポート業務委託料 807万円

36億4,751万円

●消防費

消防に関する経費など

- 消防ポンプ自動車購入費 7,760万円
- 消防団員報酬 5,133万円
- 防火水槽新設工事費 1,500万円
- 消防救急無線デジタル化事業 1,175万円
- 救急活動関係経費 814万円

15億8,120万円

●農林業費

農林業に関する経費など

- 新規就農者総合支援事業 450万円
- 間伐材搬出支援事業補助金 275万円
- 東京での食材フェア開催委託料 200万円
- 特産農産物等振興事業のフェイスペインテル番組制作委託料 99万円

15億5,774万円

●商工費

商工業・観光等の振興経費など

- だんじり会館AV設備更新工事費 6,438万円
- だんじり会館空調設備更新工事費 2,873万円
- 着地型観光パソネット作成等委託料 300万円

5億7,405万円

●議会費

市議会の運営経費など

- 議員報酬・手当等 1億6,444万円
- 議員共済組合負担金 6,999万円
- 政務活動費 576万円

3億1,390万円

●災害復旧費

台風などの災害により、破損した道路等を復旧する経費など

- 公共土木施設災害復旧事業 1億円
- 農林施設災害復旧事業 1億円

2億3,000万円

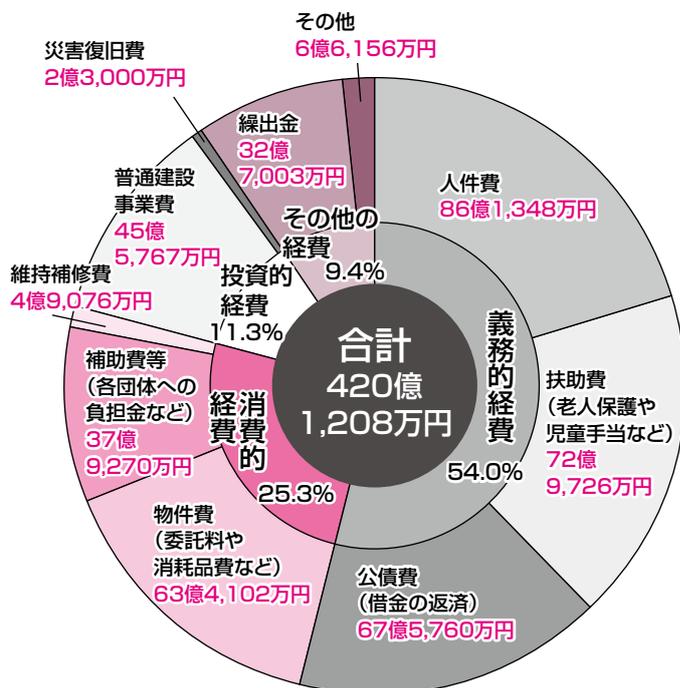
●労働費

労働に関する経費など

- 緊急雇用創出事業(19事業65人分) 7,520万円
- シルバー人材センター高齢者就業機会確保事業費補助金 1,090万円

1億5,409万円

一般会計歳出予算の内訳



常任委員会

各常任委員会では、付託された議案 63 件、
 請願 2 件について審査を行いました。
 主なものは次のとおりです。

総務常任委員会

2 / 28 開催
 議案 16 件

空き家等の適正管理に関する条例の制定

(平成 24 年 3 月議会の請願採択を受けて)

市内各地に長期間放置されている空き家等を適正に管理するために、制定する条例です。長期間放置されている空き家は、住民自治協議会等を通じて提供された情報に基づき調査を行い、所有者等に対し、適正な管理のために必要な措置を講じるよう指導及び勧告等ができるようになります。

Q 第 7 条の「必要な措置」とは、具体的にどのようなことを想定しているのか。

A 行政代執行法に基づけば解体措置まで可能である。安全性を確保できるよう、空き家等の状況に応じて検討していきたい。

Q 空き家等の全市的な調査は実施するか。

A 調査の実施は考えていない。危険と思われる空き家等があれば、情報の提供をお願いしたいので、今後周知に努めたい。

賛成討論

第 6 条、第 7 条の「することができきる」という規定は、今後、必要に応じて見直しの検討を。

賛成討論

提供された情報にしっかりと対応

していくためには、空き家バンク制度や空き家の改修等に対する施策の検討が必要である。どこで取り組むのかを明確にし、住生活基本計画や他の施策とセットで考える等、関係部署との連携を密にした取り組みを。

賛成討論

きちんと情報が提供されるしくみを作り、市民に周知されることが大事。

委員会では全員賛成で可決

教育民生常任委員会

3 / 1 開催
 議案 9 件
 請願 2 件

福祉医療費の助成に関する条例の改正

精神障がい者 2 級まで拡大

(平成 23 年 12 月議会の請願採択を受けて)

現在、伊賀市福祉医療制度の「障がい者」の受給資格のうち、精神障がい者に関しては保健福祉手帳 1 級保持者の通院のみとしていますが、平成 23 年 12 月議会で精神障がい者への医療費助成の範囲の拡大を求める請願が採択されたことを受けて、保健福祉手帳 2 級保持者の通院まで拡大するものです。

この条例は平成 25 年 4 月 1 日から施行します。

Q 範囲の拡大によって、新たに対象となる人数は。

A 約 200 名を対象としたい。

委員会では全員賛成で可決

産業建設常任委員会

2 / 28 開催
 議案 6 件

住生活基本計画の策定

平成 18 年 6 月に制定された住生活基本法に基づき、同年 9 月に「住生活基本計画（全国計画）」が、平成 19 年には「三重県住生活基本計画」が策定されました。

伊賀市では、国、県との計画との整合を図り、住生活基本法に定める基本理念をもとに、良好な住環境の形成、居住の安定確保を軸に、住み慣れた地域で住み続けることができるまちづくりの基本方針とするために計画を策定するものです。

なお、計画期間は平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間です。

Q 若年層の定住対策として、住宅提供をどのように考えているか。

A 民間住宅の空き家状況を情報バンクとして情報提供していくことを考えている。

Q 民間住宅の空き家を不動産業者等と協力し、住宅を借上げて提供することも定住対策の一手法であると考えますが。

A 市民・地域団体、住宅関連事業者、サ-

び入関連事業者と連携を図り、情報協力を得て、活用できる部分があれば活用させていただく。

委員会では全員賛成で可決

予算常任委員会

3/25(27開催)
議案32件

平成25年度一般会計予算

反対討論

庁舎、病院、統廃合等の重要な問題は、一定の方向が出されているが、川上ダムを含めた一つひとつの問題の具体的な進め方は、今後それぞれ委員会等を受けて結論を出すもので、現状はそのままの状態という判断をしている。非正規職員の給与を引き上げる等、いい面もたくさんあるが、全体をみた中での判断として反対をしたい。

委員会では賛成多数で可決

平成25年度国民健康保険事業特別会計予算

賛成討論

国民健康保険税が高いことが、一番大きな問題で、住民にとっては大変なことである。今回、国民健康保険税が下げられたが、それでも依然として高い現状は変わっていない。市民の健康を守る大事な制度であり、これからもこの問題は、改善を進めていく必要がある。

委員会では全員賛成で可決

平成25年度介護保険事業特別会計予算

反対討論

介護保険料が高く、制度そのものが複雑なものになってきている。実際には、介護保険料が高く、利用料もかかる。介護認定を受けた方のうち23%の方が、介護サービスを利用していないという実態もあり、反対をしたい。

委員会では賛成多数で可決

平成25年度後期高齢者医療特別会計予算

反対討論

この制度は、年齢で差別を持ち込むものであり、やめるべきだとの考えから反対である。

委員会では賛成多数で可決

平成25年度病院事業会計予算

賛成討論

市長の答弁で、医療再生に向けた地域医療に対する理解ができたので賛成する。

賛成討論

上野総合市民病院は総合病院として、救急、外来、入院、すべての部門で、市民の方々に不便をかけており、不安を感じながら過ごしている。医師、看護師を含め、現場の方々は、真剣に命と向き合っている、という努力は分かる。しかし、伊賀塾の開催やイギリスへの研修が、改革の一步、3つの部門を回復するための手立てとして重要である、ということに浸透できていない。今後は、市民に対して

しっかりと情報発信、情報提供をされたい。

委員会では全員賛成で可決

平成24年度一般会計補正予算(第6号)

賛成討論

新規就農者総合支援事業は、これからの地域農業を担う後継者を育てていく意味で、やる気のある新規就農者としてしっかりと話し合っており、計画的に取り組まれるよう、新年度に向けた検証を求める。また、獣害対策は、困っている地域もまだまだある。地域の方々と早い時期に話し合い、新年度に向け、地域をしっかりと守ってもらえるような施策として取り組みを。



反対討論

(仮称)上野西部地区小学校の大規模改造事業及び(仮称)上野北部小学校の建設に係る用地測量委託料の減額は、今まで進めてきた校区再編計画が後退することになると思う。それぞれの地区の校区再編検討協議会の方々が、長年の議論の中で、苦渋の選択をされたことが明らかであり、住民の合意を無視した減額であることから反対をしたい。

委員会では賛成多数で可決

議会で決まった主なこと

臨時会1/21 市長提出議案

◇工事請負契約の締結（依那古地区農業集落排水施設整備工事で、後出建材土木が1億493万1千円で落札したので、議会の議決を求める）
全員賛成で可決

2月定例会2/13～3/7

市長提出議案

平成25年度予算

◇一般会計予算（4・5ページ参照）
賛成多数で可決

討論 反対

川上ダムに反対の立場だが、答申後の対応を待ちたい。新庁舎建設は今すぐ検討する必要はなく、南庁舎から北側に増設し、庁舎内の調整や住民サービスの点から本庁にまとめることを提案している。全ての同和事業、同和教育をやめて、良い施策は全市民に適用すること。税の徴収窓口の監視カメラをはずし、差し押さえ前に必ず関係者との面接を義務付けるべきだ。（森永）

討論 賛成

変化を求める市民の支持を集め、前市政の見直しを市民目線で行われていることを評価し、賛成。しらすぎ運動公園整備事業は高額な土地取得費や競技人口の極めて少ないスポーツ施設整備など問題点が多く、再考を強く求める。（稲森）

◇介護保険事業特別会計予算（前年度比3.8%増の90億5023万4千円）
賛成多数で可決

討論 反対

施設への待機者が解消されないことや、認定後に利用料が高くサービスが受けられないなど問題点が多い。（森永）

◇後期高齢者医療特別会計予算（前年度比2.6%減の9億7968万7千円）
賛成多数で可決

討論 反対

この制度は、年齢による差別を持ち込む。（森永）

平成24年度補正予算

◇平成24年度一般会計補正予算（第6号）（9億8998万7千円減額）
賛成多数で可決

討論 反対

上野西部地区小学校の大規模改造事業と北部小学校区建設事業に係る減額補正が含まれており、教育理念と教育方針に基づいて策定された校区再編計画そのものが大きく後退するものである。また、永年の議論の末、苦渋の選択をされた関係住民の合意と民意を無視するものである。（生中）

平成25年度補正予算

◇平成25年度一般会計補正予算（第1号）（上野図書館の増築事業で、構造補強を行わなければいけないことが判明したため中止し、再度計画を見直すこととし、1億8628万6千円を減額）
全員賛成で可決

条例

◇行政組織条例の改正（組織機構、事務改善等を行行政改革とあわせて推進するため、市長

直属の市政再生室を設置）

全員賛成で可決

◇障がい者福祉計画策定委員会条例の制定（平成27年度から新たな「伊賀市障がい者福祉計画」を策定するための委員会を設置）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例の改正（いがまち、阿山、大山田の各行政サービス巡回車と、比自岐コスモス号の運行形態の変更等）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇駐車場条例の一部を改正する条例の改正（新庁舎建設事業の見直しに伴い、市庁舎駐車場を引き続き使用することから、市営だんじり会館駐車場を毎日供用できるように改正）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇庁舎建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の改正（基金の使途を支所も含めた庁舎整備全般に拡大するよう改正）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇交通安全対策会議条例の改正（委員の構成の規定に「市長が必要と認める者」を加える）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇障がい者地域自立支援協議会条例の改正（委員に「市民から公募した者」を追加）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇上野図書館設置条例の改正（図書館協議会委員の委嘱基準に公募委員を加える）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の改正（合併以前の市町村の消防団のままであった6方面隊を10分団とする）
全員賛成で可決

全員賛成で可決

◇職員の退職手当に関する条例等の改正（退職手当の調整率を段階的に100分の104から87に引き下げる）
賛成多数で可決

賛成多数で可決

討論 反対

地方公務員の賃金は地域の民間企業の賃金にも影響し、全体の抑制につながりかねない。市民の命と暮らしを守る自治体労働者の役割は重要であり、働きがいを持って仕事をしてもらうことが、市民サービスの向上にもつながる。(百上)

◇教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正(在職期間中の給料月額を10%減じる)
全員賛成で可決

その他

◇第二次同和施策推進計画の策定(同和施策審議会から答申を受けた計画の策定)
賛成多数で可決

討論 反対

「地区指定」はやめるべき。不公平な同和事業をただちにやめ、公平に市民の命と暮らしを守る責任を果たすことを求め、この計画策定は必要ないため反対。(百上)

議員提出議案

◇伊賀市議会政務調査費の交付に関する条例の改正(「政務調査費」を「政務活動費」に改め、その経費を充てられる範囲と、支出書、収支報告書の閲覧方法、透明性の確保を規定)
全員賛成で可決

◇伊賀市議会会議規則の改正(公聴会の開催、参考人の招致の手続き等を条例に追加。国の法改正に伴う引用条項の改正)
全員賛成で可決

◇地方自治法第180条第1項の規定により市長において専決処分することができる事項の追加(住宅新築資金等貸付金及び福祉資金貸付金の償還に係る訴えの提起、和解及び調停に関する)を追加
全員賛成で可決

各議員の賛否一覧

○印は賛成、×印は反対、退は退席、欠は欠席。

| 件名 | 賛成 | 反対 | 議決結果 | 生中 | 稲森 | 上田 | 近森 | 中井 | 中谷 | 西澤 | 百上 | 田山 | 本城 | 森 | 空森 | 渡久山 | 前田 | 松村 | 今井 | 中本 | 岩田 | 桃井 | 安本 | 中岡 | 馬場 | 森岡 | 森永 | |
|---|---|------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|---|
| | | | | 正嗣 | 稔尚 | 宗久 | 正利 | 光一 | 一彦 | 民郎 | 真奈 | 宏弥 | 善昭 | 正敏 | 栄幸 | カネエ | 孝也 | 頼清 | 由輝 | 徳子 | 佐俊 | 隆子 | 美栄子 | 久徳 | 登代光 | 昭二 | 勝二 | |
| 第1回臨時会(1/21) 北出忠良議員は議長のため採決に入っていません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市長提出 | 工事請負契約の締結について | 24:0 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第2回定例会(2/13~3/7) 北出忠良議員は議長のため採決に入っていません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市長提出 | 平成25年度一般会計予算 | 23:2 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成25年度介護保険事業特別会計予算 | 23:2 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成25年度後期高齢者医療特別会計予算 | 23:2 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成24年度一般会計補正予算(第6号) | 22:3 | 原案可決 | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 地区市民センター条例の一部改正 | 24:1 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 第2次伊賀市同和施策推進計画の策定 | 23:2 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出 | 職員の退職手当に関する条例等の一部改正 | 22:3 | 原案可決 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出 | 川上ダム事業の推進に関する決議(案) | 18:4 | 原案可決 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願 | 障がい児施設の整備・拡充と収容規模の拡大を求めること | 24:1 | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 上野西部地区小学校の校区再編に関する事 | 19:6 | 採択 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 市長提出 | 平成25年度国民健康保険事業特別会計予算ほか予算11議案 平成25年度一般会計補正予算(第1号) 平成24年度一般会計補正予算(第7号) 平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)ほか特別会計補正予算13議案 行政組織条例の一部改正ほか条例18議案 三重県市町総合事務組合規約の変更に関する協議 住生活基本計画の策定ほか計画の策定1議案 権利の放棄の3議案 市道路線の認定・変更の2議案 損害賠償の額を定めること 人権擁護委員候補者の推薦(天野理江氏・野田眞治氏・森岡美恵子氏) | | 全員賛成で原案可決 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 市議会会議規則の一部改正 地方自治法第180条第1項の規定により市長において専決処分することができる事項の追加 | | 全員賛成で原案可決 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3回臨時会(4/15) 空森栄幸議員は議長のため採決に入っていません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名 | 賛成 | 反対 | 議決結果 | 赤堀 | 市川 | 嶋岡 | 田中 | 福岡 | 福田 | 森川 | 生中 | 稲森 | 上田 | 近森 | 中井 | 中谷 | 百上 | 木津 | 田山 | 森 | 北出 | 前田 | 岩田 | 安本 | 中岡 | 森岡 | | |
| | | | | 久美 | 岳人 | 壯吉 | 覚 | 正康 | 香織 | 徹 | 正嗣 | 稔尚 | 宗久 | 正利 | 光一 | 一彦 | 真奈 | 直樹 | 宏弥 | 正敏 | 忠良 | 孝也 | 佐俊 | 美栄子 | 久徳 | 昭二 | | |
| 議員提出 | 木津川流域における徹底した治水対策の速やかな実施を求める意見書(案)の提出 | 7:16 | 原案否決 | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 市長提出 | 障害者自立支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 専決処分の承認(2件) 監査委員の選任(議員のうちから選任される監査委員に中井一議員を選任) | | 全員賛成で原案可決 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 市議会委員会条例の一部改正 | | 全員賛成で原案可決 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

決議 賛成 18人 反対 4人 で可決
(退席 3人)



川上ダム事業の推進に関する決議

私たちの住む伊賀地域は、過去より幾度となく浸水被害に悩まされていることから、先達は水害の一因となっている岩倉峡の狭窄部を開削し、洪水時に浸水被害が起こらないようにと強く要求してきた。しかし、河川管理者は、木津川下流域や淀川の河川改修が進展するまでは、抜本的な開削はできないとし、上野遊水地事業、木津川上流域の河川改修及び川上ダム建設事業の三施策による治水計画が立案されたところである。

以上のような経緯から、この三つの施策は私たちの地域にとって治水対策の根幹をなすものであり、一つでも欠けると生活の「安全と安心」を守ることができないと考える。

また、利水面においても安定的な水源を確保するため、川上ダムからの受水を前提として三重県企業庁が実施してきた「伊賀水道用水供給事業」を、平成22年4月に「伊賀市」が継承している。しかし、暫定豊水取水での稼働率は約50%しかなく、川上ダムが未完成の中で、安定的な取水量の確保に問題があり、川上ダムの早期完成が残された大きな課題となっている。

川上ダム建設事業は、淀川水系流域委員会で7年余りにわたり議論され、平成21年3月末に策定された「淀川水系河川整備計画」において明確に位置づけられ、平成21年4月17日には「淀川水系における水源開発基本計画の変更」が閣議決定され、ダム完成年度が平成27年度と示された。しかしながら、先の民主党政権時において「出来るだけダムに頼らない治水」への政策転換で検証の対象とされ、近畿地方整備局に設置された「川上ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」において、平成23年1月からこれまでに4回の幹事会が開催され、ダム事業の検証に係る検討がなされている。

私たち地域住民にとって、この地で安心して暮らすため、治水・利水対策は大変重要であり、早急な対策の実現を必要とし、旧上野市議会や旧青山町議会で国や関係機関に建設促進の要望を行ってきた。伊賀市議会としても、川上ダム建設事業促進の経緯を踏まえ、平成18年には特別委員会を設置し、調査・研究を行ったのをはじめ、国等へ事業促進の要望を行ってきたところである。しかしながら、先に公表された平成25年度の政府予算案で、川上ダム本体工事の予算が計上されていない。昨今のゲリラ豪雨では、洪水時に避難を余儀なくされる地域や、合流地点では浸水被害を受けている地域もある。

私たち伊賀市議会は、市民生活の安心と安全確保のため、川上ダム本体の早期着手・完了を引き続き要望し活動する。

平成25年2月13日 三重県伊賀市議会

こんな討論がありました

賛成

長い期間を経て議論をした結果が「推進」で、歴代の議長、市長、国・県の政治にかかわる人たち全ての活動であったと思う。議会報告会で住民からゲリラ雨でいつも避難しなければいけ

ないことや、河川の合流地点でマンションが浸水する状況を聞いている。過去の活動を確認し合いながら活動を続けていきたい。(安本)

伊賀の水災害は、遊水地事業と川上ダムの建設、また、河床掘削により解消されることであり、ダム建設の早期実現のため決議に賛成。(生中) 一日も早くダムの完成を願っている私の地域は

反対

毎年洪水で被害を被っている。ダム建設が現実的には進んでいないため、決議案を出して進めていきたい。(松村)

昭和44年度あたりに国の調査が入り、議会として議論をし、平成22年度に「推進」と言う一定の方向をきちんと示している。決議したのだから議員全員が賛成する立場にあるのではないかと思う。(前田)

設置される「川上ダムに関する検証・検討委員会」の答申後に、議会として決議するか否か考えるべきだ。(桃井)

議会として一致していない。淀川水系流域委員会で川上ダムは必要ないと結論を出したが、無視して河川計画を国交省が作ったのは問題だ。「川上ダムに関する検証・検討委員会」を設置し議論されていくので決議案には反対。(森永)

40年間ダム建設を推進してきたことをのみ、よりどころにした提案内容である。市長の諮問機関である「川上ダムに関する検証・検討委員会」において治水・利水両面から必要な情報を集め、有識者や市民公募の委員によって検証を行おうとする直前にこの

ような決議をすることはおかしい。(稻森)

ダムの必要性をしつかり検証することが必要であると同時に、水害被害対策をしてこなかった国・県の責任は重く問題であることを指摘して反対。(百上)



請願

教育民生常任委員会で審査し、本会議で採択となりました。

採択

障がい児施設の整備・拡充と収容規模の拡大を求めること

◎請願者

伊賀市障害者福祉連盟
会長 坂本元之 他1名

◎紹介議員

中谷一彦 中盛 汀 西澤民郎
空森栄幸 渡久山力ナ工
松村頼清 岩田佐俊

◎趣旨

障がい児を支援する各通所支援事業所は、旧町村部に少なく、定員数に達しつつある状態である。

将来にわたり、住み慣れた伊賀の地で、その人らしい自立した日常生活や社会生活を営むために、各地域において在宅支援のための日中一時支援及びショートステイが可能な施設、通所支援事業所の整備（災害時等においても活用可能なもの）を請願する。

討論 賛成

●近い将来の不安から3135名の署名を添えて提出され、保護者や関係者の熱い思いが詰まった請願であり、実現へ向け取り組むべき施策であると考える。（近森）

◎採択に

賛成24人 反対1人

採択

上野西部地区小学校の校区再編に関すること

◎請願者

猪田地区住民自治協議会
会長 前田 厚 他3名

◎紹介議員

上田宗久 空森栄幸

◎趣旨

教育委員会は、猪田・花垣・花之木・古山の4小学校区を再編し、平成25年4月に開校するため、「上野西部地区小学校区実施計画検討協議会」を平成23年2月に設立し、具体的な再編実施計画の検討を進め、平成23年11月に設置場所を上野南中学校開校後の旧成和中学校を小學生仕様に改修して使用することとしたが、東日本大震災復興費捻出の影響で当初計画を1年遅らせ、平成26年4月開校としていた。

そんな中、市長は昨年の12月議会で伊賀市の校区再編は、上野西部地区小学校の校区再編を含め再考し、民意を問うと表明された。

私たちは、子どもを中心に考え、4小学校区を再編する小学校統合について、真摯に話し合い地域の方々の意見をまとめ上げてきたが、この関係地区の総意であり民意である「成和小学校」開校実施計画を途中で停止・変更し、平成25年度当初予算に計上されないと仄聞し、強い衝撃を受け、地域住民及び関係者一同、驚き動揺している。

これまでの経緯を理解し、上野西部地区小学校の校区再編による「成和小学校」が、平成26年4月に開校できるよう請願する。

討論 賛成

●市長の判断で再度民意を問い直すことになったが、そもそも、既に4小学校区の民意は反映されており、その証拠が本請願の提出という行為そのものである。一刻も早く本計画を進めるべき。（中井）

●協議が行われ合意形成をとってきた民意そのものであり、採択をすべき正論である。（前田）

討論 反対

●地域からは旧成和中学校周辺の安全性に不安の

声や、複式学級を解消できれば4校統合にこだわらないという声も聞かれる。幅広い地域住民と行政・教育委員会の今後十分な協議が必要だ。（稲森）

●これを継続審査にすると、改選で廃案となってしまう。十分議論する期間がないが、新しい市長誕生も民意であり、立ち止まって検討すべきだ。（森永）

●市長や教育委員会が住民への説明会をし、再編を新しい方向に見直していく方向性が出されたと聞いている。（本城）

◎採択に 賛成19人 反対6人

臨時会 4/15

意見書

否決

木津川流域における徹底した治水対策の速やかな実施を求める意見書（案）の提出について

賛成7人 反対16人

◎趣旨

住民を水害から守るための緊急性の高い課題として①上野遊水地の早期完成 ②島ヶ原地域の堤防かさ上げ ③木津川、服部川、柘植川の河道掘削などの速やかな実施を国、県に求める。

討論 賛成

●様々な意見の出た川上ダムに関する検証・検討委員会できちんとしたものをまとめた上申請に沿った内容であり、緊急的に治水対策の実施を国や県に求めることが必要。（百上）

討論 反対

●議会として「川上ダム事業の推進に関する決議」をしている。緊急な流域の治水対策には賛成だが、この意見書案は、ダムが必要でないという方の意見だと理解するため反対。（生中）

代表質問

2月19日に6会派が代表質問をしました。

代表質問

爽風クラブ 中井 洸一 議員



質問項目

- 施政方針
- 教育行政方針

問 1日も早く庁舎建設整備に着手すべきでは

昨年11月に市長は新庁舎建設事業を中止という判断をされました。

それまでの計画では全面新築するということで現在の行政機関は分散され、約2年間不便を強いる事を、市民や議会も含め了承したわけです。

この状況を一刻も早く解消すべく、市民の利便性と、そこで働く職員の労働環境を最優先に考えて、庁舎建設に着手すべきと思いますがいかがですか。

答 本年中に計画を示します

庁舎建設整備は可能な限り、現庁舎や既存の施設利用を優先的に考えています。

それらの施設の規模、老朽度や今後の維持管理経費など総合的に判断しながら、コンパクトで経費の少ない庁舎整備計画を、庁舎建設検討委員会を設置して本年中に市民の皆さんに示したいと考えています。

代表質問

公明党 近森 正利 議員



質問項目

- 施政方針
- 教育行政方針

問 5歳児健診の実施を

発達障がいや就学前に発見することは、その子どもに合った指導・対応が可能であり、そのためにも5歳児健診が必要であると思いますが、実施を考えていますか。

答 調査研究します

法による検診だけでは限界があり、発達障がいを発見・支援する機会として有効であると考えており、平成25年度中に、調査・研究し一定の結果を出します。

問 インフルエンザワクチン接種の公費助成を

子育て世代のインフルエンザの接種費用の負担は大きく、本年もインフルエンザの流行により学級閉鎖になっており、リスクは大きくなっています。ワクチン接種の推進を図るためにも、公費助成を考えていますか。

答 関係機関の意見を聴き調査します

効果が出ると考えており、医師会や教育委員会の意見を聴き、平成25年度中に、調査・研究し一定の結果を出します。

代表質問

維新・市民クラブ 中本 徳子 議員



質問項目

- 25年度施政方針
- 川上ダム の 早期 実現
- 庁舎整備計画

問 川上ダムの早期実現を

平成16年度完成として進んできた川上ダムは、平成27年の完成に向けて進行中の事ですが、ダム湖と関連して周辺整備が遅れてきています。

議会報告会ではダムの早期完成を望む声が非常に多いため、治水水問題もはっきりして早く完成すべきです。政権が交代して、やっと公共事業に投資をしていくという時期にさしかかっています。市長は、国県に強力な早期実現を要請すべきと考えますがどうですか。

答 検証・検討委員会の答申を踏まえ対応します

ダムを何のためにつくるのかを認識するために、治水水について検討を加えたいです。今、「川上ダムに関する検証・検討委員会」を立ち上げており、答申を踏まえて対応を考えていきます。

一部用地買収が出来ておらず、買収できても完成まで8年はかかります。洪水被害は県の整備部長に、しっかりと対応するよう申し入れをしています。

代表質問

代表質問

親和クラブ 森岡昭二議員



質問項目

- 施政方針
- 予算編成方針
- 教育行政方針

問

庁舎は三重県伊賀庁舎の払い下げを

庁舎の問題は、「ムダのない財政」という視点から言えば、三重県伊賀庁舎の払い下げを求めることに向けて、積極的に取り組んで行けばと思うが、市長の考えはどうか。

答

重要な提案とし承る

庁舎整備計画をまとめるには、本庁舎を移転新築するのか、既存の施設を改修するのか、南庁舎をどうするのか、といったことを色々の視点から決めていくという段階があります。

その中で、三重県伊賀庁舎を利用してどうかというのは、今後、三重県の理解を得た上で伊賀庁舎の一部、または、どの程度が使えるのかも考慮しながら、重要なご提案として承っておきたいと思えます。

代表質問

新政クラブ 生中正嗣議員



質問項目

- 施政方針
- 教育行政方針

問

庁舎建設はなぜ「ムダのない財政」、「市政再生」の柱として挙げられるのか

庁舎建設計画は、今まで市も、議会も、市民も真剣に議論し、結論として現在の場所での新築ということが進められてきました。「失われた6年」という表現をされていますが、なぜムダなのですか。

答

「軍艦庁舎」はムダの象徴です

今までの計画は、事務の延長線上で算出された基本設計であり、これからは支所のあり方、事務のあり方の中から本庁の規模が算出されるものです。市民の皆様が「軍艦庁舎」と揶揄した設計は、ムダの象徴と言っています。

市の規模にふさわしいムダを省いた建物を新築に向けて取り組みたいと考えています。



代表質問

日本共産党 森永勝二議員



質問項目

- 施政方針
- 予算編成方針
- 教育行政方針

問

南庁舎を北に増設し、このままで新庁舎に

庁舎は合併時の協定のとおり「当面はこのまま使用」で対応してきました。現在、前市長のもとで北庁舎と公民館が解体されました。

今後は、南庁舎をリフォームして庁舎として引き続き使用し、分散した機能は一つにすることが庁内の調整と市民へのサービスから必要です。現在の南庁舎を北に増築して全課が収まるよう提案したいと思いますが市長の見解はどうか。

答

一つの選択肢と理解する

手元に新市建設計画の当時の本庁舎の検討というペーパーがあります。これがいつの間にか変わっていったら、この間のことです。しっかりと提案、審議してこなかったことが、今日までの混乱を招いたのだと思います。

しかし、これからどうするか早く解決することが喫緊の課題です。提言頂いたことも一つの選択肢として、重要な提案であると理解させて頂きます。

一般質問

2月20日から22日まで、18人の議員が市の諸問題についての質問をしました。

一般質問



渡久山力ナ工議員

質問項目

- きもので歩こう！城下町
- きもでも発達支援センターの現状と課題
- 認定こども園の考え

問

きもので歩こう！城下町

伝統工芸品である『伊賀くみひも』など、伊賀の伝統産業の振興と、小京都の一つに数えられている伊賀上野の城下町をきもので歩くことを、着地型観光（オンパク手法）と併せて考えていただけませんか。

答

発信力を持って続けたい

伊賀には歴史と文化に彩られた観光資源が数多くあります。豊かな自然の恵みから生まれた農産品や特産品を、一定期間に多数のプログラムを用意して集中的に提示していくのがオンパク手法です。

『伊賀くみひも』も、貝紫染めのように手技の上にデザイン力などセールスポイントをつけて発信していくことが大事です。

きものを着て城下町を歩いていただくことは興味深く発信力があり、波及力もあることから、しっかりと認識を続けていきたいと思っております。

一般質問



稲森稔尚議員

質問項目

- 公共施設のリニューアル
- 自給自足対策

問

「公共施設の更新問題」次世代にツケを残すな

「公共施設の更新問題」が財政上「期限爆弾」とあると言われています。一時期に建設された公共施設の耐用年数を迎える時期が集中し、深刻な財源不足に陥るからです。ひとつの目的に、ひとつの「ハコモノ」という発想を変え、他市では例えば廃校で「地域ビジネス」を行ったり、保健センターの中に郵便局を誘致するという事例もあります。

伊賀市ではこの問題にどのような取り組みますか。

答

将来を見据えて「公共施設の再配置」に取り組みます

伊賀市では平成37年から47年に公共施設の耐用年数を迎えるピークと見込んでいます。その時期には最大20億円程度の財源不足に陥る可能性もあります。

まずは施設白書を整備し、市民の皆さんに維持管理や更新にどの程度の負担が必要かという情報を示します。市政再生室を中心に施設の再配置に取り組み、「官と民」との連携も見据えていきます。

一般質問



岩田 佐俊議員

質問項目

- 観光振興と地元業者育成
- 環境施策
- 道路施策

問

県道680号高倉佐那具線、三田大谷地内から府中東条地内へのバイパス道の新設は

平成29年完成予定の三田坂トンネル完成に伴い、大型車の往来が、頻繁になると思われれます。現在の道路幅は狭く、以前から早急にバイパス道の建設を要望していますがどのような状況ですか。

答

道路整備の採択を県へ強く要望します

この県道は上野北部地域の幹線道路ですが、通勤通学路で生活道路でもありません。場所によっては道路幅が狭く、自転車、歩行者には大変危険な状況です。

市からも県に対しバイパス道の建設を要望していますが、当該区間の整備は今後3カ年に実施していく事業を示した「道路整備方針」や、着手を指している事業を示した「道路事業計画」に盛り込まれていません。

このため、新たなバイパス整備の見直しは厳しいものがあります。今後整備の手法も含め、地域の皆様の要望を引き続き三重県に強く働きかけていきます。

一般質問

一般質問

桃井隆子議員



質問項目

- 危機管理とその後への対応
- 観光行政の今後の取り組み

問

冠水被害を防ぐには

台風・ゲリラ豪雨が襲来した折、毎年同じ地域で冠水被害が発生しています。なぜ、減災対策をせずに放置し続けるのですか。

また、林道から倒木が流れ、下流域に甚大な被害を与えています。伊賀市のバイオマスタウン構想の進捗はどうなっていますか。

答

引き続き河川改修を推進します

山林の手入れが行き届かなくなっていることと、中山間地の農地の荒廃や、農地の住宅地への転用などから雨水が直接河川へ流れ込むこととなり、洪水被害となつていきます。

こうしたことから、河川の掘削部のショートカットや堤防の補強、さらに、堆積した土砂の浚渫に取り組んでいます。引き続き、河川改修や治水事業の拡充を県へ強く要望していきます。

また、木質バイオマス構想は、材料の供給やペレット利用にはコストがかかるという課題があるため、まだ策定されていません。

一般質問

今井由輝議員



質問項目

- 教育方針
- 観光行政
- 道路行政
- 庁舎建設

問

榎山磯尾間のバイパス道路の建設は

昨年、9月議会に阿山地域の住民自治協議会などから出された榎山地域の「主要地方道甲南阿山伊賀線に代替する単独市道の建設について」の請願が本会議で採択されました。

その後の経過報告書では、概算で13億円かかるこの大事業を市単独ではできないということでした。

交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、他の地域と比較して住民の生活水準が著しく低い山間地域、離島などへの、国の辺地対策の事業として、有利な辺地債を使う等工夫して、地域住民の長年に渡る念願を何とか考えてほしいです。

答

今後の方策を検討します

請願の重みを考えさせられます。請願に対し地元のよせる思いが大きかったのだらうと思います。辺地債の話も含め、どのような方策がたてられるのか、どのように進めていったら良いのか、しっかりと検討します。

一般質問

本城善昭議員



質問項目

- 高度な行政需要を担うには
- 環境に優しいゴミの再利用化は
- 学校給食の食材
- 校区再編に関して

問

適正な学区規模での校区再編とは

教育行政方針によりますと「市内全域では児童数の減少は顕著であるものの、一方、児童数が増加傾向の学校も見受けられ、教室の増設も必要なことから、今後の状況を見極めながら校区の見直しが必要」と述べられています。

また、市長は「小学校は、地域社会の中核的存在」とも述べられています。

今後、これまでの統合ありきの再編をどのように見直していきますか。

答

地域住民合意のもと、再編を進めます

既存施設の利用を原則として進め、大きな統合ありきではなく、小さな単独での統合も考慮に入れ検討していきます。

さらに、学校は地域との連携により地域づくりの核となってきた経緯からも、地域住民の十分なご理解を得ながら取り組んでいきます。

一般質問

一般質問

中岡久徳議員



質問項目

- 農業
- 林業

問

林業の後継者を

林業も農業同様に後継者の問題がありますが、市としてどう考えますか。

答

国の事業を活用し、支援します

伊賀市内の林業従事者は木材価格の低下による生産意欲の低下や、従業者の高齢化が進み、大幅に減少しており、後継者不足が深刻な問題になっています。

林業活動を担う中心的な認定事業者への就業を促して、林業後継者の育成と確保を進めることが重要と考えます。

森林、林業人材育成対策として、平成25年度の国の事業では緑の新規就業総合支援事業「緑の雇用」の現場技能者育成対策事業などがあり、これらを活用するように、認定林業事業体に働きかけ新規



就業者の確保、育成、キャリアアップ等の支援をしていきたいと考えられています。

一般質問

前田孝也議員



質問項目

- 危機管理対策
- 上野図書館増築事業
- 校区再編計画

問

上野図書館増築工事中止とは

上野図書館は、新築と増築で相当議論して増築に決定しましたが、最終的に設計入札後、工事中止となりました。

増築計画時点で構造計算を行うには、既存建築物を含めた一体構造様式であることは、当初から分かっていたことではありませんか。

市長に尋ねます。ムダのない財政再建をキャッチフレーズとするに際して、この不祥事となる出来高清算金637万円をどのようにお考えなのか。

答

プロとしての認識を締め直します

今回の計画は、既存の建物に壁を取りつけ、構造体を一体化しようとしたものです。敷地の関係により配置が決まって構造計算を行い、構造上切り離すものはありませんでしたので最初からわかっています。

また、プロとしてのマインドをしっかり持つことは基本です。637万円の認識を絞め直して行かないと本当にムダになると理解しています。

一般質問

百上真奈議員



質問項目

- 生活保護基準の引き下げで市民に及ぼす影響と対応は
- 先生を増やして複式学級の解消を
- 子どもの医療費の窓口負担をなくして中学校卒業まで無料に
- 高齢化のすすむ住宅密集地での火災対策は

問

高齢化のすすむ住宅密集地での防火対策を



市内の住宅密集地や高齢者世帯に関わる火災が相次ぎ、住民も高齢者も不安に思っています。

延焼を防ぐためにも十分な水の確保が必要であり、防火水槽を整備してください。高齢者世帯や在宅介護が増えていくことを重視し、行政として消防、福祉、介護等関係部局の連携を密にし、対応してください。

答

社会的弱者に視点をあて、防火対策を進めます

市街地の防火水利は、防火水槽と消火栓で充足率80・6%と、概ね網羅されていますが、さらに、計画的に進めます。高齢者世帯へ訪問し防火診断をしていますが、今後は女性消防団員による対応も考えていきます。

地域の方々の高齢者情報をいただきながら、社会的弱者の視点を持ってしっかり対応していきます。

一般質問

一般質問

中盛 汀議員



質問項目

- 観光PRとイベント
- 人権施策の今後

問

観光PRと地下道の活用は

NINJAフェスタには、東海と近畿から9割近い人が来て来ています。1月に行われた東京での誘客促進イベントの効果はどう生きますか。また、お城から伊賀鉄道上野市駅までのコースの一つである地下道を、もっと有効活用してはいかがですか。

答

全国へのPRを

首都圏での観光PRはあまりなかったのですが、情報発信はチャンスであり、何を見せるのが大事です。地下道はもったいないと感じており、活用を検討していきます。

問

人権施策の今後は

答

差別がある限り、しっかりと取り組めます

差別のない社会の実現のため、教育委員会と市、全庁あげて啓発に取り組み、行政の責務として解決を目指します。

一般質問

空森 栄幸議員



質問項目

- 消防水利
- 竹林

問

防火水槽の新設予定は

現在は耐震力のあるタンクを地中に埋設していますが、新しく防火水槽を設置するとすると、タンク及び埋設工事などのかなりの費用がかかるのですか。また、タンクの容量はどのくらいあるのですか。今後、伊賀市として年間どのくらい新設していく計画ですか。そして、耐震力のない防火水槽は修理をしていくのかお聞きします。

答

充足率の低い所から設置していきます

防火水槽の埋設工事は、場所によって多少異なりますが、450万円〜500万円かかります。水槽の容量は40m³で、充足率の低い所から、1年間に5基から6基を新設しています。今後も同様に新設していきます。耐震力のない防火水槽は、点検によって漏水を見つけた場合、年に数箇所、修理を行っていきます。

一般質問

森 正敏議員



質問項目

- 川上ダム
- 公共下水道
- 森林を育て守る政策

問

川上ダム検証・検討委員会の目的は

川上ダム問題は、半世紀近くにわたる伊賀市の大きな課題ですが、市長は就任後、直ちに川上ダム検証・検討委員会を立ち上げましたが、この委員会の目的と公平公正な委員選考をしたのかを伺います。

答

委員会はセカンドオピニオンの考え方で

国では川上ダムを検証中ですが、地元として治水、利水の面で何か良い方法はないかを確かなデータと皆様の知見で検証することは必要です。検討委員会は反対とか賛成とかではなく、医療でいうセカンドオピニオンの考え方で、違った立場から検討してもらいます。委員の選考は、各界各層からそれぞれの立場の方を、副市長と他2名の関係部長とで、公平、公正に選びました。

一般質問

一般質問

馬場登代光議員



質問項目

- トイレのまちづくりをされませんか
- JRR関西本線に夢を乗せていただけませんか

問 JRR関西本線に夢を乗せてくれますか

電化を進めるためのいろいろな名称の会が発足して、何年になるのでしょうか。毎年総会が催され、同じような行動をしています。一歩でも前進しているのでしょうか。

旧国鉄時代ならともかく、現在は民間企業です。民間企業は営利を目的としています。莫大な投資をしても回収の見込みがあればやるはずですが、何年たってもなぜできないかを考え直してほしいです。市が主導でいろいろな取組みができると思いますが、市長の画期的な考えはないのですか。

答 夢を乗せて走ってみたい

関西線と伊賀鉄道は線路の幅が同じです。車両はいろんなエネルギーによって走ります。複線電化が目的ではなく、それをすることによって得られるものが利便性や集客力であり、自由な発想で考えることが大事です。夢は大きいほど楽しく、知恵と工夫で実現できるようにしていきたいと思っています。

一般質問

安本美栄子議員



質問項目

- 働く女性の環境整備
- 行財政改革

問 夜間保育の必要性は

働く女性の環境整備として「仕事と子育ての両立」の視点から、特に医療機関等で看護師として働く人たちは、子どもが保育園や小学校に行くようになると退職していく状況で、潜在的ナースがいるにも関わらず、看護師不足が起こっています。

その手立てとして夜間保育、24時間保育、放課後児童クラブの延長について、実態と今後の方針を問います。

答 検討していきたい

放課後児童クラブでは、現在の6時から7時までの延長に関する調査では、「利用する」が少なかったが、保育所と合わせた時間帯として、来年度から7時までとしたいと思っています。

また、24時間保育は厳しい状態にありますが、夜間保育の必要性は検討していきたいと思っています。

一般質問

上田宗久議員



質問項目

- 小学校区再編
- 「病院の再生」

問 複式学級解消に向けた成和校区小学校の再編協議会での合意をどう評価されていますか

もともと平成25年度4月開校予定であった小学校の4校統合は、震災の影響で1年延期になりましたが、昨年12月議会です市長は、ゼロベースの見直しを表明されました。

今年こそはと考えていた矢先のこと、教育現場や地域では、全く先行きの見通しが立たない状況に落胆し、混乱しています。協議会で合意された内容に、教育委員会ではどのように評価されていますか。

答 教育委員会の本気度が問われています

積み上げてきた協議会での議論は、十分理解をしています。合意についてもいささかの思いの違いがあったとしても、地域の一定の民意であると認識しています。複式学級解消はもう待ったなしの状況であると考えています。

市長の見直し発言以降も、市長と教育委員会での話し合いを重ねていますが、今後子どもたちの教育環境の向上にもっと良い方法がないのかを問いかけ、解決に向けて粘り強く取り組んでいきます。

一般質問

一般質問



松村 頼清 議員

質問項目

- 川上ダムに関する検証
- 庁舎整備計画
- ごみ処理
- 伊賀市交通計画

問

将来のごみ処理は

現在、伊賀市のごみは青山地区を除いて、さくらリサイクルセンターのRDF化施設で処理されていますが、平成32年で終わる予定です。あと8年しかありません。今後の伊賀市のごみ処理を考える検討委員会を立ち上げるようですが、あと8年の猶予の中で、ごみ処理の方法から処理場の選定、環境アクセス、地元同意、用地買収、施設建設、道路整備など簡単には進まないと思いますが、市長はスケジュールをどう考えていますか。

答

スピード感をもたねばならない

もう8年しかないという考えでスピード感をもっていかなければならない中、いろんな選択肢もあります。もし、新設するならば、基本計画、環境調査、都市計画等の手続き、造成工事など合わせて6～8年の期間を要すると考えています。

一般質問



西澤 民郎 議員

質問項目

- 農業
- 観光
- 安心安全

問

猿害の防止のために捕獲の推進は

獣害問題を解決していくため、これまでの対策の手を緩めることなく「集落ぐるみの獣害対策」の取り組みを進めていきます。

答

手を緩めることなく進めていきます

問

猿の追い払いに係る費用の増額を

組織的に追い払うなどにより、効果的な追い払い活動を行う地域には、資材費の上乗せを検討したいと思えます。

答

検討したい

問

菜の花プロジェクトの推進課題とその対策は

最大の課題は、菜種の単位収穫量の向上です。目標収穫量の10a当たり100kgを目指し、これまで以上に現地での栽培管理指導や研修会実施などの取り組みを強化します。

答

単位収穫量の向上が課題

一般質問



中谷 一彦 議員

質問項目

- 伊賀市における木材利用方針
- 伊賀市公営住宅等計画
- 市民相談窓口

問

市営住宅1戸の建設費は高くないか

建設費が1戸、1350万円で算定されているが、高い価格ではないですか。

答

生活の安定と社会福祉の増進に寄与

公営住宅は、公営住宅法に基づき、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、住宅に困窮する低所得者に賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することが目的であり、平成20年に建設した河合団地は、1棟10戸で約1億3700万円でした。

問

市営住宅入居時の連帯保証人が見つからない場合は

連帯保証人が見つからず入居を辞退するのでは、公営住宅法の趣旨に反するので、条例で特別な事情がある場合には1人とする規定もあります。

答

条例に基づき事情によっては1名の場合も

伊賀市議会 会派一覧

(平成 25 年 4 月 30 日現在)

会派とは「政策を中心とした同一理念を共有する議員」で構成し、活動する集団です。
伊賀市議会申し合わせ事項により、2人以上を会派としています。

| 会派名 (50音順) | 所 属 議 員 | | | | ◎は代表者 |
|--------------|---------|-------|-------|------|--------|
| かがやき | ◎安本美栄子 | 嶋岡 壯吉 | 福岡 正康 | | |
| 公明党 | ◎赤堀久実 | 近森正利 | 中谷一彦 | | |
| 自民いが | ◎木津直樹 | 森川 徹 | | | |
| 新政クラブ | ◎上田宗久 | 福田香織 | 生中正嗣 | | |
| 親和クラブ | ◎前田孝也 | 森 正敏 | 森岡昭二 | | |
| 爽風クラブ | ◎田山宏弥 | 中井洸一 | 北出忠良 | 岩田佐俊 | (空森栄幸) |
| 会派に所属していない議員 | 市川岳人 | 田中 覚 | 稲森稔尚 | 百上真奈 | 中岡久徳 |

※議長は会派に属さないこととなっているため、() で表示しています。

広報委員会の紹介



(後列左から) 赤堀久実 福田香織 市川岳人
福岡正康 森川 徹
(前列左から) 稲森稔尚 ◎森 正敏 ○百上真奈
中井洸一 田中 覚
(◎委員長 ○副委員長)

平成25年6月定例会(予定)

- 6月6日(木) 本会議 (開 会)
- 12日(水) 本会議 (一般質問)
- 13日(木) 本会議 (一般質問)
- 14日(金) 本会議 (一般質問)
- 17日(月) 本会議 (一般質問)
- 18日(火) 予算常任委員会
- 19日(水) 予算・決算を除く各常任委員会
- 20日(木) 予算・決算を除く各常任委員会
- 26日(水) 本会議 (閉 会)

※本会議と予算常任委員会は10時から始まり
ます。その他の各常任委員会は、議会議務局へ開
催時間をお問い合わせ下さい。
※定例会の日程は、変更になる場合もあります。

議会を 傍聴して みませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴
できます。

市民の皆さんが選んだ議員の活
動や市政の動きを知るためにも、
ぜひ、傍聴してください。

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による
傍聴を希望される方は、一般質問初日の 3
日前までに市議会事務局に申し出てください。
(対象となる会議・・・一般質問)
- 議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置も設
置しています。

本会議等の模様は、午前 10 時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後 7 時から)
本会議は市役所 2 階の市議会議場で、委員会は 2 階の市議会第 1 委員会室で開催します。

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

発行：伊賀市議会
編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687 E-mail gikai@city.iga.lg.jp
FAX 0595-24-7901 ホームページ http://www.city.iga.lg.jp